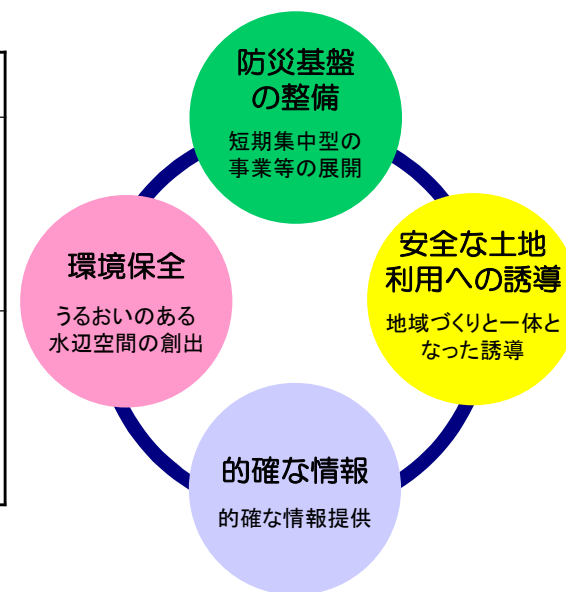


令和7年度河川・海岸整備の整備目標

●鹿児島県では、毎年のように河川の氾濫や高潮等による浸水被害が発生し、人命が危険にさらされ、財産の損害が生じており、浸水被害対策は緊急の課題となっています。このため、「防災施設」、「情報」が一体となった『安全な地域づくり』を目指すとともに、自然環境に配慮しながら、河川・海岸整備を進めます。

整備方針	整備指標	R5実績値	R6実績値	R7目標値
災害に強い安全な県土のための防災基盤整備の推進	河川整備率(%)	46.8	46.8	47.0
	高潮・侵食被害危険区域面積(ha)	154.1	151.2	139.5





主な事業箇所の工事概要や整備目標など（県事業）

河川事業

河川名	事業名	市町村	全体計画延長	全体事業内容	令和7年度の事業内容	担当事務所
新川	都市河川改修事業	鹿児島市	6.850m	河口から大峯橋までの流下能力の向上を行い、浸水被害の軽減を図る。	JR田上橋の架替工	鹿児島地域振興局建設部
神之川	基幹河川改修事業	日置市	3.700m	神之川橋から支川長松川合流点付近までの流下能力の向上を行い、浸水被害の軽減を図る。	徳重地区荒瀬井堰の改修	鹿児島地域振興局建設部
大里川	総合流域防災事業	いちき串木野市 日置市	5.145m	日之出橋から湯之元橋付近までの流下能力の向上を行い、浸水被害の軽減を図る。	薩摩渡瀬橋の架替工	鹿児島地域振興局建設部
花渡川	総合流域防災事業	枕崎市	7.875m	河口から上流の支川金山川合流点付近まで、支川中州川は花渡川合流点から下園橋までの流下能力の向上を行い、浸水被害の軽減を図る。	支川中洲川の町田頭首工の改修	南薩地域振興局建設部
万之瀬川	基幹河川改修事業	南さつま市	11.420m	河口から花川橋付近までの流下能力の向上を行い、浸水被害の軽減を図る。	上ノ山橋の架替工	南薩地域振興局建設部
大浦川	総合流域防災事業	南さつま市	3.200m	支川大王川合流点付近から野下橋付近まで、支川大王川は大王橋付近から有木橋付近までの流下能力の向上を行い、浸水被害の軽減を図る。	支川大王川の大王橋の架替工	南薩地域振興局建設部
湯田川	総合流域防災事業	薩摩川内市	2.330m	国道湯田橋から妙見橋上流付近までの流下能力の向上を行い、浸水被害の軽減を図る。	国道湯田橋の架替工	北薩地域振興局建設部
野田川	総合流域防災事業	出水市	9.400m	河口から堂目木橋付近までの流下能力の向上を行い、浸水被害の軽減を図る。	福井橋付近の護岸整備	北薩地域振興局建設部
別府川	基幹河川改修事業	始良市	4.000m	船津橋下流から新永瀬橋上流までの流下能力の向上を行い、浸水被害の軽減を図る。	永瀬橋の架替工	始良・伊佐地域振興局建設部
市山川	総合流域防災事業	伊佐市	10.186m	羽月川合流点から上流へ約7,000m、支川青木川は市山川合流点から上流約約3,000mの流下能力の向上を行い、浸水被害の軽減を図る。	羽月川合流点付近の掘削工 支川青木川合流部より上流の樋門工	始良・伊佐地域振興局建設部 伊佐市駐在
雄川	基幹河川改修事業	南大隅町	4.650m	河口から北之口橋付近までの流下能力の向上を行い、浸水被害の軽減を図る。	雄川橋から北之口橋区間の護岸整備	大隅地域振興局建設部
甫木川	総合流域防災事業	鹿屋市	3.650m	肝属川合流点から国道220号までの流下能力の向上を行い、浸水被害の軽減を図る。	大橋上流の掘削工・築堤工	大隅地域振興局建設部
庄内川 溝之口川	総合流域防災事業	曾於市	3.400m	庄内川は関之尾堰から1900m、溝之口川は庄内川合流部から1500mの流下能力の向上を行い、H22.7月豪雨の洪水被害の軽減及び再度災害防止を図る。	合流点付近の護岸整備	大隅地域振興局建設部
甲女川	総合流域防災事業	西之表市	6.200m	赤尾木橋から市道橋付近までの流下能力の向上を行い、浸水被害の軽減を図る。	鷗橋架け替えに係る設計委託	熊毛支庁建設部
住用川	総合流域防災事業	奄美市	2.700m	河口から2,700m区間の流下能力の向上を行い、H22.10月豪雨の洪水被害の軽減及び再度災害防止を図る。浸水被害の軽減を図る。	稲袋橋より下流の築堤・護岸工	大島支庁建設部

海岸事業

海岸名	事業名	市町村	全体計画延長	全体事業内容	令和7年度の事業内容	担当事務所
馬場海岸	海岸堤防等老朽化対策緊急事業	錦江町	600m	海岸保全施設（護岸）の老朽化対策を行い、護岸機能の回復・強化を推進することにより、背後地の保全を図る。	護岸整備（老朽化対策）	大隅地域振興局建設部

(4)「安心・安全な県民生活を実現する強靱な県土づくり」

二級河川 神之川

【概 要】

- ◇神之川は、鹿児島市郡山町の八重山に源を発し、日置市街地部を貫流して東シナ海に至る流域面積約99km²、流路延長約26kmの二級河川です。
- ◇下流の南神之川地区、中流の太田地区、上流の市街地部において、下流から整備を進めています。
- ◇南神之川地区については、橋梁の架替や河道の拡幅が完了しており、太田地区については、橋梁の架替が完了し、ネック地点の解消が図られたところであり、引き続き、河道の拡幅を進めています。
- ◇日置市街地部については、現在、荒瀬井堰の本体工事を進めており、浸水被害の解消に向けて取り組んでいるところです。

【令和7年度の整備目標】

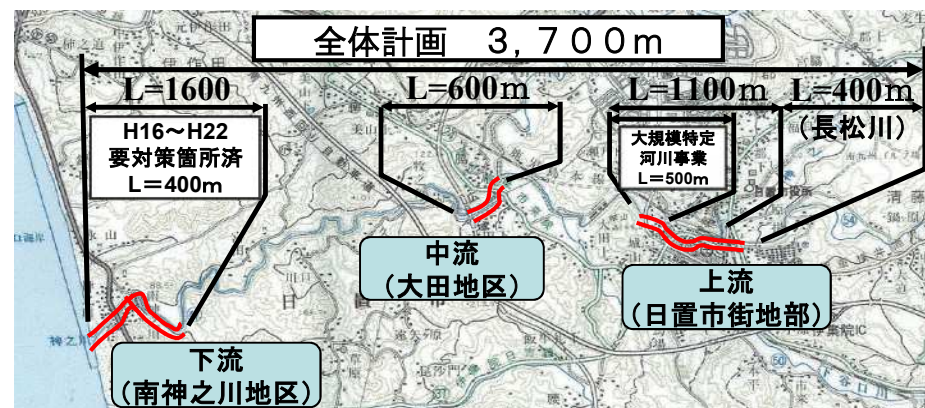
荒瀬井堰の改築や河道掘削等を進めます。

基幹河川改修事業

【整備効果】

●災害に強い安全な県土の形成

神之川の整備を実施することにより、浸水被害を軽減し、人命・財産を守ります。



中流(太田地区)



上流(日置市街地部)



(4)「安心・安全な県民生活を実現する強靱な県土づくり」

二級河川 住用川

【概 要】

◇住用川は、大島郡大和村小川岳に源を発し、東シナ海に注ぐ流域面積48.5km²、流路延15.5kmの二級河川です。

◇平成22年10月集中豪雨、平成24年9月台風17号により、住用川では人的被害、甚大な住宅浸水被害が発生しました。

◇平成23年度から住用川の河道掘削、築堤、護岸、橋梁改築等の整備に着手しており、河口から稲袋橋上流までの区間（2,700m）について流下能力の増大を図ります。

◇「自然と調和した川づくり検討委員会」における有識者や地元住民等の意見を反映しながら、リュウキュウアユやマングローブ群落に配慮した河川改修を行っています。

【令和7年度の整備目標】

河道掘削、新堤防等の整備を行い、流下能力の向上を図ります。

総合流域防災事業

【整備効果】

●災害に強い安全な県土の形成

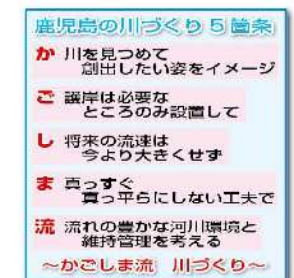
住用川の整備を実施することにより、浸水被害を軽減し、人命・財産を守ります。



検討委員会の意見交換



自然と調和した川づくり



(4)「安心・安全な県民生活を実現する強靱な県土づくり」

寄洲除去

【概 要】

◇寄洲除去は、河川の氾濫を未然に防止するための重要な対策であることから、河川断面が著しく阻害されるなど、治水上、緊急性の高い箇所から、順次、実施しています。

◇令和2年度からは、緊急浚渫推進事業債の活用により、予算を大幅に増額し、寄洲除去など河川の維持管理に積極的に取り組んでいます。

【令和7年度の整備目標】

寄洲除去を164箇所実施します。

県単河川等防災事業

【整備効果】

●災害に強い安全な県土の形成

寄洲除去を実施することにより、浸水被害を軽減し、人命・財産を守ります。

■永田川（鹿児島市）

寄洲除去前



寄洲除去後



(4)「安心・安全な県民生活を実現する強靱な県土づくり」

洪水浸水想定区域の指定

【概 要】

◇洪水浸水想定区域については、水防法に基づき、洪水時の円滑かつ迅速な避難を確保し、又は、浸水を防止することにより、水災による被害の軽減を図ることを目的として指定しており、市町村においては、避難経路や避難場所などの情報を記載した洪水ハザードマップの作成等に活用しています。

◇令和元年東日本台風等による豪雨において、洪水浸水想定区域の指定対象ではない中小河川で多くの浸水被害が発生し、河川周辺地域に潜在的に水害リスクがあるにもかかわらず、そのリスクが周知されず、地域住民へ危険性の無いものとして誤解を与えるおそれがあるとの課題が明らかになりました。

◇こうした課題を踏まえ、令和3年度に水防法が改正され、洪水浸水想定区域の指定対象河川が、国及び県が管理する全ての河川に拡大されました。

【令和7年度の整備目標】

水害リスク情報の空白域の解消を図るため、県が管理する全ての河川（459河川）について、令和7年度中に洪水浸水想定区域の指定が完了できるよう、検討を進めます。

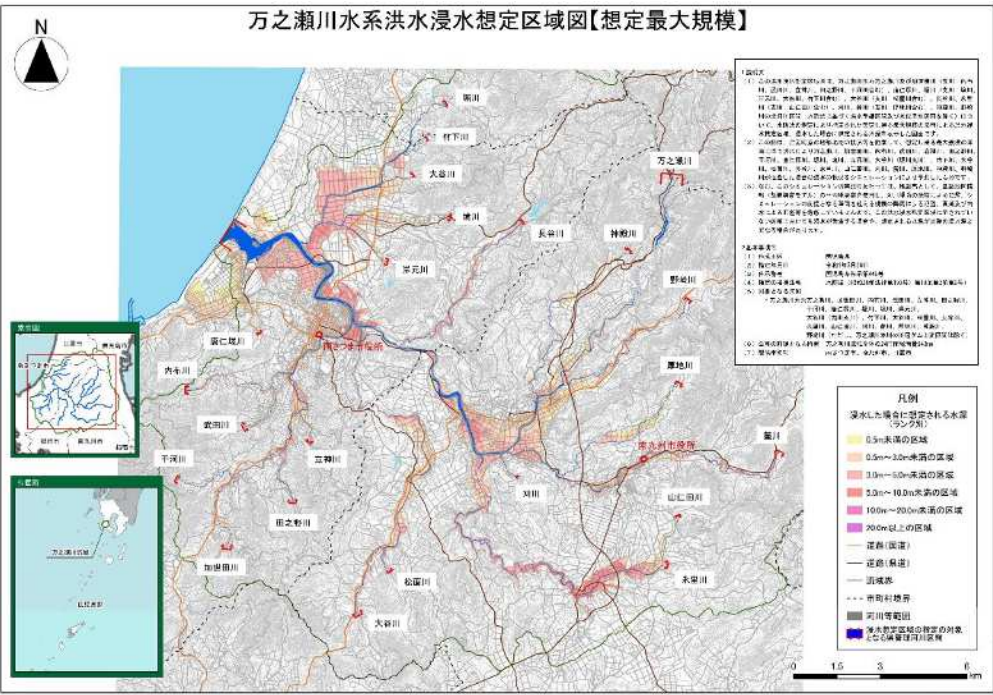
総合流域防災事業

【整備効果】

●災害に強い安全な県土の形成

全ての河川における洪水浸水想定区域の指定により、水害リスク情報の空白域の解消が図られます。

■万之瀬川（南さつま市、南九州市）



(4)「安心・安全な県民生活を実現する強靱な県土づくり」

一級河川 川内川水系

河川メンテナンス事業

【概 要】

◇川内川水系には、ゲート操作を伴う河川管理施設が73施設あり、これらの老朽化が著しい施設及び規模の大きい施設の老朽化対策を実施しています。

◇これらの施設は、高齢化等によりゲート操作人の確保が困難、急激な水位上昇の際に操作が遅れるなどといった懸念があることから、修繕や更新を計画的に実施することで、適切な治水機能を確認しています。

◇また、土地利用状況や地域の実情を勘案した上で、必要に応じて無人化（フラップゲート化等）に取り組んでいます。

【令和7年度の整備目標】

樋門等の補修・修繕・無人化を実施し、河川管理施設の計画的な長寿命化対策を推進します。

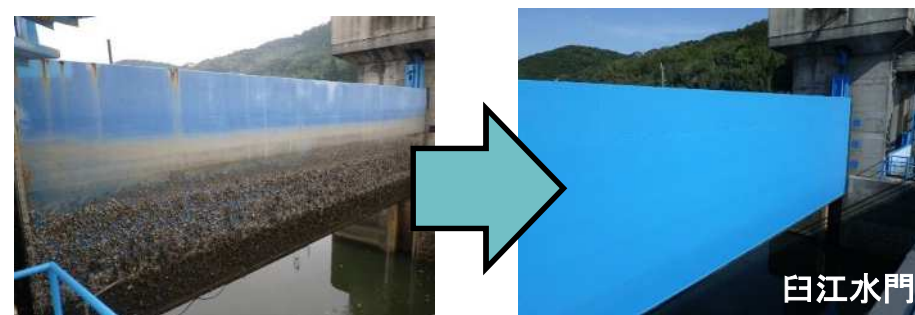
【整備効果】

●災害に強い安全な県土の形成

長寿命化計画に基づく延命化の措置を適正に実施します。



無人化（フラップゲート化）



扉体塗装

(4)「安心・安全な県民生活を実現する強靱な県土づくり」

馬場海岸

海岸堤防等老朽化対策緊急事業

【概 要】

- ◇馬場海岸は、大隅半島南西部の錦江町に位置し、鹿児島湾入口付近に面した海岸保全区域延長2,560mの海岸です。
- ◇護岸等の海岸保全施設が昭和35年から37年にかけて築造され、50年以上経過し、老朽化が進んでいました。
- ◇構造物には亀裂や沈下、吸い出しに伴う空洞が多数発生し、護岸機能が著しく低下していました。
- ◇このため、平成27年度から海岸堤防等老朽化対策緊急事業による護岸の機能回復・強化に取り組んでいます。

【整備効果】

●災害に強い安全な県土の形成

海岸保全施設（護岸）の老朽化対策を行い、護岸機能の回復・強化を推進することにより、背後地の保全を図ります。

●護岸工の整備による海岸環境の保全・創出

風水害から沿岸の暮らしを守りつつ、快適で安全に人々が自然とふれあえる、魅力的な海岸づくりを進めます。

【令和7年度の整備目標】

護岸の老朽化対策を25m実施します。

